

第5次総計審はいつ開催するのか



石川 正議員

【議員】総計審がスタートし6ヶ月になるが、まだ審議会が開催されていないのはなぜか。

【町長】現在、公募委員を選任中。町づくりフォーラムは9月にスタート。

【議員】住民意向調査では、町に活気がない40%、財政状況に合った行政サービス52%と回答。これをどう捉えているか。

【企画部長】住み易い約60%、永住したい約70%である。施策は評価されていると思う。

【議員】30〜40代の総計への具体的な参画方法は

【企画部長】30〜40代は、総計審議会で2人。町づくりフォーラムは70人程度とし、地区推薦24人中3人である。

【議員】審議会等の回数、時間はどうか。

【企画部長】審議会6回。策定部会5回。フォーラム10回程度。2〜3時間/回を計画している。

公園の自主管理

【議員】展開計画はどうなっているか。

【経済建設部長】平成22年度開始で準備している。老人クラブの生きがい活動と連携させ進めたい。

【議員】管理内容、予算規模はどうか。

【経済建設部長】除草、清掃、花の水やり等で約41万円。

【議員】対象公園はどれくらいなのか。

【経済建設部長】13公園を考えている。

春木中通字路の安全確保

【議員】春中生徒数は平成21年82人、平成25年80人と想定。東郷製作所寮そばの道を利用する生徒数は。

【教育部長】30名。

【議員】通学路は狭い所が多く、白線識別もない。歩道の設置はどう考えているか。

【経済建設部長】歩道設置は難しく、側溝に蓋をし、白線識別で行いたい。

相互扶助の原点である 自主活動団体の活性化を



水川 淳議員

【議員】新設の「くらし協働課」のビジョンは。

【生活部長】各種講座等実施の他、職員に団体との協働の検討のため通知をおこなった。

【議員】既存の活動団体へのサポート体制は。

【生活部長】情報収集や打ち合わせ、情報発信の場としていこまい館の町民活動センターが活用されている。

【議員】既存団体の活動実態の把握は。

【生活部長】すでに協働している団体は各担当が把握している。さらに推進するために庁内LANで周知をはかっていく。

【議員】「活動団体支援補助金」「公募型事業提案制度」など新制度の考えは。

【生活部長】先進地事例は、将来的に本町に見合うものについて研究が必要である。

【議員】「総合型地域スポーツクラブ」発足への取り組みは。

【教育部長】平成24年度までの発足に向け、県からの指導もあり、準備を進めたい。

いこまい館見直しの成果について

【議員】いこまい館見直しは終わったのか。

【企画部長】見直しの目途がたち経営改革室を廃止した。一定の区切り。

【議員】利用者数推移は。

【健康部長】平成18〜19年度は増加。平成20年度は減少した。トレーニングジム工事が原因の一つと考える。

【議員】増加に転ずる目途は。

【企画部長】各ゾーン毎に検討とPRを計っていきたい。

【議員】診療所を移設するのか、しないのか。
【町長】本年9月4日の政策会議において移設しないと決定した。診療所のゾーンは、あらためて検討していきたい。